



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和6年11月5日
文責：校長 江上 知男



図書室の様子(4年)

「読書の秋」到来です！

「読書の秋」という言葉は、私が子どもの頃から聞いているもので、「涼しい秋は読書に適している」という考えが浸透したものと思われます。何でも、有名な夏目漱石(なつめそうせき)の小説がきっかけで日本に根付いたという説も…。書店をのぞくと、「秋の読書推進月間」のポスターもありました。

さて、私は小学生の頃本を読むことは好きだったのですが、きっかけは2年生の時に「大きい1年生と小さな2年生」という本を読んだことからでした

(本校の図書室では見当たりませんでした)。文を読んで、初めて「情景が頭の中に浮かぶ」という経験をしました。50年以上経った今でも、その時の新鮮さは忘れられません。

読書には様々な効果があると言われます。「新しい言葉や表現を学び、コミュニケーション能力が高まる」「様々な物語や世界に触れ、想像力を膨らませることができる」「じっくりと本に向き合うことで、集中力や持続力が養われる」等々です。私は、個人的には「登場人物の気持ち等を理解することで人に対する共感力が育つ…『人に優しくなれる』」ことが貴重と思っています。

今の時代、情報を得る手段としてはテレビやネット動画などがあります。もはや、読書は非効率なのかも知れません。でも、読書は「書いてある言葉や登場人物のセリフや行動、文脈から正しく情報を把握をすること」が求められ、受け身ではできないため、映像よりも読書のほうが断然実体験に近い感覚を得ることができるそうです。秋の夜長、「親子読書」なんていかがでしょう。結構楽しいですよ!!

嘉島町文化祭が開催！

11月3日(日)に、嘉島町民会館で「町文化祭」が開催されました。嘉島中吹奏楽部の素敵な演奏で始まり、27組の方がステージ上で日頃の練習成果を披露されました。本校からも「太鼓」や「ダンス」で参加した子どもたちがいるとともに、学校代表としては1年の堀上希さんが朗読を発表しました(8月開催の「町朗読だいすきコンクール」最優秀賞)。とてもハキハキした発表に、感動しました。



優しい対応(5年)



「来年度の1年生」がやって来た！

10月31日(木)に、本校校舎・体育館を使って「就学時健康診断」を実施しました。参加したのは、来年度入学予定1年生親子でした。来年度の1年生は、今のところ89人で3クラスの予定です。

当日大活躍だったのが5年生で、新入児のお世話で校内を探検したり、ゲームで楽しませてくれたりしました。新入児の皆さんはとても楽しそうでしたが、5年生の表情も生き活きして「お世話を楽しんでいる」という感じがしました。

6年生から伝統を受け継ぐ5年生…「嘉島西小学校の将来は明るい!」と感じました。

11月1日(金)にシェイクアウト訓練を行いました。突然地震が起こったという想定で、「授業中に予告なしに机の下に避難する」というものです。子どもたちは、真剣に素早く体を動かすことができました。「地震時に自分の身を守ることは国民的な課題です。ご家庭でも、話をいただければ幸いです。